

8 LOH 症候群の諸症状に対する 補中益気湯の治療効果の検討

藤田クリニック

藤田 直之

〔目的〕LOH症候群に対する第一選択はテストステロン補充療法 (TRT) であるが、TRT適応外やTRT希望のない患者に対し漢方治療が行われることも多い。今回、当院にてLOH症候群と診断され補中益気湯による治療を受けた14例につき検討した。

〔方法〕Aging Male's Symptoms (AMS) スコア、遊離テストステロン値にて診断を行い、AMSスコア、遊離テストステロン値にて治療評価を行った。

〔結果〕平均年齢は53.6歳、治療前AMSスコアの平均値は 47.4 ± 10.9 、治療前平均遊離テストステロン値は $6.3 \pm 2.0 \text{ pg/ml}$ だった。治療後AMSスコアの平均値は 43.1 ± 13.5 ($P=0.39$)、治療後平均遊離テストステロン値は $8.8 \pm 1.8 \text{ pg/ml}$ と有意に上昇を認めた ($P<0.01$)。肝機能障害などの副作用は認めなかった。AMSスコア改善例を有効例とすると、有効例9例 (64%)、無効例5例 (36%) だった。有効例のうちAMSスコア症状別に検討すると、身体症状、性功能症状は治療前後で差は認めなかったが、精神症状は治療前平均値 14.4 ± 4.5 から治療後平均値 10.0 ± 5.4 と有意に低下を認めていた ($P<0.01$)。

〔結論〕LOH症候群に対する補中益気湯による治療は64%で有効であり、テストステロン値の上昇を認めた。有効例ではAMSスコアのうち精神症状が有意に低下を認めていた。ART適応外の患者に対し補中益気湯単独治療は有効であり、特に精神症状に効果がある可能性が示唆された。